



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

HP QR コード



例会 QR コード



“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988
宝塚ワイズメンズクラブ 2025年 5月会報 第437号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) A Shanavaskhan (A・シャナヴァスカーン) (インド)

主 題 “Together for a better World” 「より良い世界の為に、共に」

スローガン “Arise and Shine” 「立ち上ろ、そして輝こう」

アジア太平洋地域会長(AP) Joan Wong(ジョウン・ウォン)(香港)

主 題 “Make a Great Impact “ 「大きなインパクトを起こそう」

スローガン “Be Bold and Serve by Faith “ 「大胆に、信念をもって奉仕しよう」

西日本区理事(RD) 鶴丹谷 剛 (神戸)

主 題 つなげよう地域と世界、YMCA と共に

スローガン 楽しもうフェロウシップをポジティブに

六甲部長 小野勅紘 (西宮)

主 題 一人は万人のために、万人は一人の為に

スローガン Y (YMCA) ・ Y (ユース) ・ W (ウィン) ・ W (ウィン) の関係で互いに支援しましょう！

宝塚クラブ会長 長尾 亘

主 題 楽しい例会があって、YMCA・地域活動を大切に！

西日本区 5 月強調テーマ : LTOD(リーダーシップ開発)

クラブ・部・区のあらゆる機会を有意義に捉えリーダーシップのスキルを身につけよう。(LT 開発部長 中村隆司…京都ウエル)

YIA(若者の参加と活動)未来の社会のためにユースと共に社会を革新する活動を始めよう。(Y サ・ユース 上杉 徹…神戸西)

2025 年 5 月 例会

日 時 : 2025 年 5 月 14 日(水)18 時 30 分

場 所 : 宝塚市西公民館ホール

会 費 : 1,500 円

ドライバー 青柳美知子・石田由美子

開会点鐘 会長 長尾 亘

ワイズソング(英語) Once More We Stand 全 員

聖書・祈祷 若林成幸

ゲスト・ビジター紹介 長尾 亘 会長

食事・懇親

インタビュー Miss Sofiya Sirotska・Mr.Yasukazu Okano

“Ukrainian refugees talk about the present and future”

「ウクライナ3年、避難者が語る今、これから」

各会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 長尾 亘 会長

ニコニコ献金

閉会点鐘 宝塚クラブ 長尾 亘 会長

2024~2025 役 員	会 長	長尾 亘
	副会長	多胡葉子 福田宏子
5 月 誕生祝い	書 記	若林成幸
	会 計	小林康男 郡家 学
	会計監査	石田由美子 風早寿郎
	担当主事	橋本 唯
	メネット連絡	小林貴美子
	直前会長	石田由美子
	6 片西順子	7 長尾 亘
4 月 実 績	23 鯖尻佳子	24 小林康男
	会員在籍数(A)	17 名
	例会出席総数(B)	19 名 (内ズーム 名)
	(内訳) 会員(C)	12 名
	メネット・アソシエイト	3 名(内ズーム 名)
	ゲスト・ビジター	4 名
	メイクアップ(内数D)	0 名
	会員出席率 C+D/A	70.6 %
	例会充足率 B/A	111.8 %
	にこここ献金・ファンド実績	
ニコニコ ファンド	ニコニコ	3,500 (累計 21,500 円)
	タカラムネ	3,000 (累計 36,850 円)
	真菰茶	12,000 (累計 23,900 円)
	その他	0 (累計 31,600 円)
	合 計	15,000 (累計 92,350 円)

聖 句

「あなたがたは、真理を受け入れて、魂を清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、清い心で深く愛し合いなさい。」

新約聖書・I ペトロ1章22節

随 想

上に記したパウのお奨めを聴いて、それがまさに自分が今までやってきたことなのだと自慢できる人がいるでしょうか。反対に、それができないふがいなさに嘆くのではないのでしょうか。

しかし、です。

「夜というのが何のためにあるのだろうかと考えることがある。眠りというのが何のためにあるのだろうかと思うことがある。夜や眠りによって区別される今日と明日とのちがいが何のためにあるのだろうか」と反省することがある。

だが明日という日が今日と違ってあればこそ、我々、生きる上で随分、助かっているようだ。今日、起こったいやなこと、不愉快だったこと、後悔の種になったことが、夜と眠りとの時間のくぎりのおかげで、どうにか鎮まり、やりなおしの希望がわいてくることがよくあるものだ。『勇気ある言葉』（遠藤周作『信じる勇気が湧いてくる本』祥伝社 2002 P.79）。

なるほど。ということは、夜があるということは「何回もやり直していいんだよ」という励ましのためであると受け止めてもいいということなのだと自分なりに解釈することにした。

自分に失望し、自分に愛想をつかして、夜、床に就いても、再び太陽が昇ると、心を新しくします。そして、今一度自分を大切に、隣人を大切にして生きていこうと立ち上がります。

5月という新しい月を迎えます。この月も、忍耐を持って私を愛してくださる神のまなざしに励まされて、心を新しくして一日のスタートを切ります。夜があげました。

宝塚教会 牧師 浦上結慈

4 月第 1 例会報告

4月例会は「防災世界子ども会議」創設者で[2025 in KOBE]の実行委員長でもある岡本和子さんから、「防災世界子ども会議」の創設の経緯や今回の「防災世界子ども会議 2025 in KOBE」の概要をお話いただきました。

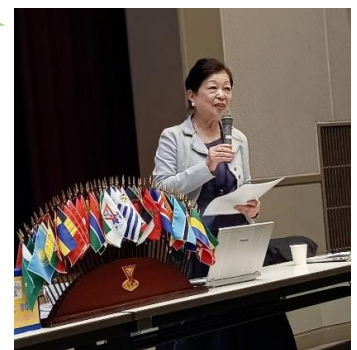
「防災世界子ども会議」は阪神・淡路大震災 10 周年記念事業として神戸での第 2 回国連防災世界会議パブリックフォーラム(2005年1月開催)への参加を機に、子どもを通してお世話になった方々にお礼をしたいとの思いから始まりました。

世界で起きている自然災害による被害を世界の子どもの交流・協働を通じて軽減し、将来の災害から世界の人々の命を守るプロジェクトです。このためには世界中の国々を結ぶデジタルネットワーク技術や英語教育等非常にハードルが高いものでありましたが、岡本さんは運命の流れに任せて進めたところ周りの人たちの協力があり、今日まで続けてこられました。

今年の「防災世界子ども会議」では、阪神・淡路大震災から 30 年。高校生からの提言「ユースがつなぐ「防災の未来」として葺合高校の防災チームが健康・人権・教育の観点から学んだことを生徒一人一人が英語で発表されたそうです。

子どもに対する防災教育は非常に重要なことだと思います。今後とも命の大切さを思い「防災世界子ども会議」が益々発展されることを願います。

小林康男



4 月第 2 例会議事要旨

4月第2例会を4/16(水)18時30分から西公民館会議室で開催した。出席者は、長尾会長、石田、小林、郡家、多胡、福田、青柳、金岡、若林各ワイズの9名。議事要旨は次の通り。

1. 例会に関して

- ・5月例会「ウクライナ侵攻3年、避難者が語る今、これから」と題しインタビュー形式で行う。

ウクライナ・バレエ教師 Bogdan Chabaniuk 氏 日本語通訳・進行を岡野泰和ワイズに依頼する。

第2例会後の変更:ボグダン氏から「例会日にどうしても外せない仕事があり欠席せざるを得ない、代役に英語が堪能な Sofia Sirotska さんが出席、よろしく」とのこと。事情ご理解ください。

- ・6月例会 6/14 西日本区大会開催を考慮し例会の日程・運営を変更する。

6/11(水)第2例会とし、西日本区大会での運営(役割分担等)の確認を中心に行う。

6/18(水)第1例会とし、年度末にあたり活動を振り返り次年度への課題等を協議する。

- ・新入会者 安行英文氏(元さんだクラブ会長)の入会申請を承認、7月例会にて入会式を行う。

2. 諸活動について

- ・4/26(土)神戸ポートクラブ「チャリティー・コンサート」チケット21枚の売上協力。

- ・5/3(土)14:30 自立の家 “Spring Saloon Concert”

- ・5/10(土)10～11時 神戸 YMCA 創立記念日礼拝

- ・5/11(日)10時～16時 たからの市(宝塚市立芸術文化センターにて)、タカラムネ・真菰茶販売

- ・5/17(土)14時～ 六甲部 CS 講演会「アートで考える共生社会」講師:甲南大学教授 服部 正氏
神戸 YMCA チャペルにて、多胡・福田・若林・山田ほか出席予定

- ・5/24(土)京都ウエルクラブ 創立20周年記念例会 出席予定:長尾・石田

- ・5/24(土)9:30～12時 特定外来生物“オオキンケイギク”駆除作戦 参加予定:若林・金岡・多胡

- ・6/29(日)14時 ポップンリンガーズ創立20年記念コンサート 中央公民館

クラブからチラシ作成(デザイン…多胡コメント・印刷費)を援助

- ・8/1～3 アジア太平洋地域大会(熊本)プログラム冊子に広告(5000円)協賛を承認。

(注)参加登録は各人で行うこと。

3. ブリテン編集

編集案にもとづき投稿分担を協議した。

(若林成幸)

西日本区大会実行委員会報告

4月21日(月)18:30から神戸 YMCA で開催。主な議題は次の通りです。

- 1、4月21日現在の登録状況 目標650名に対してあと100名です。第1次登録で540名になり第2次に入ってますがまだ未登録のクラブが幾つかあり個々に確認が必要

- 2、会場使用を更に効率的、経済的に運営する工夫

当日プログラム、特にバナーセレモニーの入場、並び方、写真撮影など限られた時間、スペースを考えながら議論、かなり白熱しました

当日進行係は宝塚クラブの委員長若林、金岡、石田の各ワイズ、神戸ポートクラブの大野智恵ワイズ、神戸西クラブの井高好貴ワイズです。

プログラム冊子印刷は重松ワイズ、神戸ポートクラブの大野智恵ワイズと私が担当しています。来賓祝辞、理事、始め主催者側挨拶、奈良傳賞、メモリアルアワー、出演者紹介など必要な原稿は揃いました。いよいよ最終段階へ向かいます。

実行委員会総務委員会 石田 由美子

『生涯現役が送る人生の道標』

島田 恒著作 出版記念講演会

雨で煙る芦屋川の桜も依然として美しく咲き誇る、4月19日(日)、芦屋ラポルテ本館に於いて、六甲部 EMC 主査:島田 恒氏の『生涯現役が送る人生の道標』と題して、「出版記念講演会とワイズのお誘い」会が開催され、始めにおよそ 100 数十名を超える方々が着席されたホールで、華やかな神戸女学院大学声学科卒業の方々による、昔懐かしミュージカルの数々を披露され、しばし夢の世界へと誘われ、その後、記念講演が行われた。

島田氏は、大学を卒業後、一般企業に就職された当初は、港町神戸でさえも、外人の方々に出会う機会は多くなかった。現在の京都、奈良、大阪等に訪れる外国人の多さになれておられる方々は想像しがたいのではないだろうか。「英語」が大切な言葉になるのでは？と日本人が自覚した時であろう。事実、英語教室、タイプライターが出没！日本人の興味は外国語？になったように思われた。当時は まだ、女性の社会進出の扉はせまく、厳しいものであった。社会貢献よりも、家庭を築く方に重きをなしており、今日のような共稼ぎで、こどもは保育所に預けるという当たり前の考えは、当初は通用しなかった。

また、太平洋戦争後、男女平等、投票による首長の決定、健康で文化的な最低限度の生活保障等々、当時としては目新しい政治体制が実現した。民主主義をもたらしたアメリカの影響は大きく、戦後すぐの書籍ベストセラーは英語教本と聖書であり、キリスト教がブームとなった。1968年には、日本は世界第2の経済力を誇る地位となった。そのような中で島田氏が力を注がれたのは、文化と共同を担う非営利組織である。1995年阪神淡路大震災を契機にNPO法が生まれ、ボランティア活動に火が付いた。

島田氏は二十数年の安定した企業の会社務めを経て独立を決断、コンサルタント業を志し、様々な大学で集中講義、経営に関する講義等、足掛け30年の教職に従事された。そして85歳に至る今日まで、生涯をかけた課題として「人間はいかに生きるべきか」、「社会はどうあるべきか」を掲げ関心を深めるとともにクリスチャンの道を歩まれた。

企業は利潤最大化を目指し、行政は公平な貢献を目指す。これらに比し、非営利組織の目指すところは多様である。独自の価値観と人間のつながりを主張し、独自の考え方、価値観をミッションとして掲げる。ミッションは「使命」と訳され、その使命、信念に沿った活動を展開し、志を共有する仲間のつながりを目指す。ミッションとはキリスト教の用語から由来し、YMCA もしかり！1844年、産業革命下にあるロンドンで創設された{YMCA}は国内で35都市に広がり、それらをサポートするワイズメンズがおよそ2000人がボランティア活動を繰り広げており、より一層のメンバー増強が大いに望まれている昨今である。

会場のほとんどの人が島田氏のこれまでの生き方に納得する表情が伺えた。

(福田宏子)

芦屋クラブ 桜まつり

恒例の芦屋川桜まつりは、今年も4月6日の日曜日に開催され、芦屋クラブのお店もその一角に出店。午後から友人と芦屋川沿の桜見物を兼ねて芦屋クラブのお店を訪問。メンバーの方々が次々ところれる来客にチヂミ、安倍川餅、ワインの接客におおわらわ。

2時近くの訪問だったが途切れることのないお客さんに、声掛けも憚られる雰囲気フル回転の繁盛！メンバーはオーバー80歳の方々がほとんど。その奮闘ぶりに年齢を感じさせない若々しい働き！チヂミをお土産用に包んでもらって混雑している人通りの中を五部咲の桜に春の陽気を十分に感じながら散策を楽しんだひと時だった。

(多胡 葉子)



YMCA ニュース

総主事就退任礼拝・歓迎会に出席して

4月11日翌日に行われる神戸 YMCA 総主事就任退任式に出席するために、海外のパートナーYMCA から11名ものゲストが来日されました。それを歓迎してワイズ主催の夕食会が、神戸ミュンヘンで前日の10日におこなわれ、シアトル、チェンマイ、水原、天津、高雄YMCAから11名のゲストをお迎えし、和やかに交流を深めました。尾上神戸ワイズメンズクラブの司会で、中道理事長の歓迎のご挨拶に始まり、新旧の総主事のあいさつ、各YMCAのゲストの紹介、国際委員のロニーアレキサンダーからの国際交流の大切さについてのメッセージがあり、にぎやかで楽しい歓迎会になりました。食後、大野ワイズのギターでさらに盛り上がり国際交流の大切さを実感しました。



12日の聖ミカエル教会で行われた神戸 YMCA の総主事就退任式には、兵庫県や西宮市、全国の各YMCAのスタッフや会員の方々が264名も参加され、会堂が満員になるほどで、神戸YMCAが様々な青少年活動で地域に長く活動し貢献してきたことがうかがえました。阿部先生の指揮によるハンドベルクアイアーが式典を盛り上げてくださいました。

宝塚クラブからは、若林、多胡、武田が出席、退任する井上前総主事労苦をねぎらい、小澤新総主事のこれからのご活躍を祈りました。

武田寿子

海外パートナーYMCA ウェルカムレセプション

海外パートナーYMCA(シアトル、チェンマイ、高雄、天津、水原)から11名をお迎えし、ワイズ、国際委員、職員の総勢50名で豊かな交わりの時を過ごすことが出来ました。宴の最後は、皆さまと各国の歌を歌い、楽しいにぎやかな時間となりました。皆さまのご協力あつての会になったこと、感謝いたします。

また、総主事就退任式においても、色々なYMCAの仲間が集まり共に祝い、喜び、その繋がりを感じる時間でした。就退任式にお越しいただいた、ワイズメンの皆さまもありがとうございました。これからの神戸YMCAの歩みを、皆さまと共に進んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

橋本 唯



ワイズメンズクラブ会長、ご所属メン、メネット関係者の皆様

過日は、神戸 YMCA 総主事 就退任式における海外ゲストのウェルカムパーティーのほか、当日の式典、そして、ゲストのアテンドなど、様々なご支援を賜り感謝もうしあげます。ありがとうございます。御礼が遅くなり、恐縮です。海外ゲストの皆様も昨夜帰国の途につかれ、今後改めて、交流などの再開や計画を話し合うこともできました。皆様のご支援に感謝し、YMCAも心新たに進めてまいりたいと思ひます。今後とも何卒、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。メールにて、失礼します。取り急ぎ 御礼まで。

小澤 昌甲